

盛岡県北

本社 019 (654) 1208
 二戸支局 0195 (23) 8080
 八幡平支局 0195 (78) 8100
 岩手支局 0195 (62) 3249

販売店

加賀野 (622) 4942
 こずかた (624) 2554
 北部 (622) 5536
 本宮 (635) 0185
 太田 (659) 1056

築川 (666) 2355
 せいなん (638) 4530
 都南 (638) 1822
 乙部 (696) 3651
 矢巾 (613) 5540

矢巾東 (672) 3111
 紫波 (672) 3111
 西部 (699) 3333
 大釜 (687) 4168
 小岩井 (686) 2422

翠石 (692) 2059
 巢子 (688) 4080
 滝沢 (688) 4519
 好摩 (613) 8383
 にのへ (22) 1122

きんたいち (27)
 御返地 (26)
 浄法寺 (26)
 いちのへ (33)
 奥中山 (35)

教育旅行の可能性探る SDGsセミナー

八幡平

八幡平市と観光地域づくり法人八幡平DMO（畑めい子社長）は29日、同市安比高原のホテル安比グランドでセミナーを開き、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした教育旅行の可能性を探った。

市内外の宿泊業者や観光関係者らオンラインも含め約30人が参加。日本修学旅行協会の高野満博事務局長



SDGsをテーマにした教育旅行について理解を深めるセミナー参加者

と大和リゾートが運営する福島県のホテル「アクティブリゾート裏磐梯」の皆川大樹営業部長が講演した。

高野さんは教育旅行の目的や内容は時代とともに変化していると指摘。教育旅行のプログラム開発は「歴史や文化など地域が持つオリジナリティーの部分とSDGsなどのテーマを結びつける」ことが大切だと話した。



・つむぎ八幡平の事業所
 大賞の特別賞に選ばれた里
 認知症とともに生きるまち

八幡平 八幡平市田頭
 NPO法人「里・つむぎ八幡平」(高橋和入理事長)は、NHK厚生文化事業団が主催する「認知症とともに生きるまち大賞」の特別賞を受賞した。

同賞は認知症に関わる活動に取り組み団体などが対象。同法人は2010年に設立し、認知症対応型デイサービスや共生型グループホームなど5事業所を運営。高齢者と障害者が一緒に暮らす地域共生型のケア

今回全国から30件の応募があり、本賞に4団体、特別賞に同法人を含む3団体が選ばれた。

受賞団体の活動を紹介するフォーラムと表彰式は、12月19日にオンラインで行う。

認知症支援で全国特別賞 NPO法人「里・つむぎ八幡平」 農作業通じた交流が評価

NHK文化事業団表彰

15年には別法人を立ち上げて農業部門に参入。ニンニクの市独自品種「八幡平バイオレット」などの野菜やコマ栽培に取り組み、農作業を通じた利用者の交流促進など、高齢化が進む地域ならではの取り組みが評価された。

高橋理事長(60)は「これまでの取り組みが認められたことはありがたい。利用者が心安らぐ居場所づくりを進め、高齢者と障害者が共に生活することが自然な風景となっていけばいい」と願う。



ゲームの改良に取り組み(左から)吉田琥太郎さん、佐々木空さん、伊藤崇和さん

3年生チーム「鯉が素振り」と、尹鳥ソニアさん(2年)、遠藤穂花さん、柳村祐羽さん(ともに1年)で組む「I W A T E」の2チーム。オンラインで開催し、Rubyというプログラミング言語を使って製作したゲームのアイデアや完成度を競う。1次審査は87作品の中から同校2チームを含む7作品が突破した。

生徒は6月からゲーム製作を始め、



藤原 十文

協定を(左から)代表